

旅行取扱状況の概観（平成27年9月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は同126.6%と前年を大きく上回ったが、一般団体は前年比67.1%と下回り、団体旅行合計で同79.4%と前年を下回った。企画旅行については同111.8%と大きく上回ったが、個人旅行については前年比89.1%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比98.7%と前年をやや下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比85.2%、学生団体は同82.9%と前年を下回り、団体旅行合計では同84.1%と前年を下回った。企画旅行については同118.8%と前年を大きく上回り、個人旅行についても同110.5%と前年を大きく上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、107.5%と前年を大きく上回った。

外国人旅行は、前年比139.4%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の9月の総取扱額は前年比105.2%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は昨年実施した大型の視察旅行や複数の招待旅行の取扱いの反動を受け、前年比67.8%と下回った。学生団体は、大型の修学旅行や研修旅行の取扱い団体数増加により同126.6%と前年を大きく上回ったが、海外団体旅行合計では同80.1%と前年を下回った。

国内団体については、一般団体は前年に実施した大会や文化イベント取扱いの反動を受け、前年比85.5%と下回った。学生団体は取扱い団体数の減少により前年比82.9%と下回り、国内団体旅行合計で前年比84.3%と下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、シルバーウィークの販売が好調に推移し、取扱額で前年比128.4%と前年を大きく上回った。方面別取扱人数の状況では、北海道・沖縄を除き全般的に好調であり、引き続き、北陸、関西、南紀、中国四国は好調を維持している。

ホリデイは、シルバーウィークの販売が好調に推移し取扱額で前年比115.9%と前年を大きく上回った。方面別取扱人数の状況では、ミクロネシアが引き続き好調を維持しており、全方面合計では前年比125.6%と大きく上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、シルバーウィークの販売が好調に推移し、取扱額で前年比107.3%と前年を大きく上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、九州を除く北海道から本州全方面の販売が堅調であったことに加え、台風等の自然災害の被害も最小限に留まったこともあり、取扱額で前年比115.8%と前年を大きく上回った。

バス旅行部門は、シルバーウィークの販売が好調に推移し、取扱額で前年比109.0%と前年を大きく上回った。

テーマ旅行部門は、「ひとりの贅沢」シリーズ商品の販売が好調であったことに加え、徳島の犬塚美術館夜間貸切、伊勢志摩ウォーク、河口湖ドリームフェスティバルなどのイベント企画が好調であり、取扱額で前年比118.7%と前年を大きく上回った。